



⑤ 桜島袴腰の磯



③ 桜島・神瀬のサンゴ群集



① 火山性熱水噴気活動

©JAMSTEC

知ってほしい 鹿児島島の海“錦江湾”

～知ればもっと好きになる



⑥ 岩礁域を泳ぐアカオビハナダイの群れ



④ ホンダワラ類の藻場



② 始良市重富の干潟

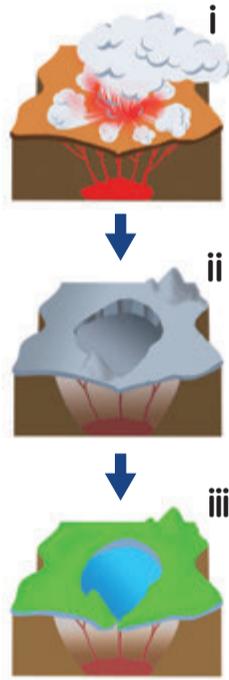
©かごしま水族館



深海を持つ珍しい内湾

長年の火山活動が作り出した錦江湾の海底には、桜島を境とする湾奥部、湾中部ともに水深が200メートル以上の「深海」があり、錦江湾は日本で唯一、世界的にも珍しい内湾でありながら深海を持つ海となりました。

深海を持つ珍しい内湾



錦江湾(湾奥部)は巨大噴火でできた海

約2万9千年前に巨大噴火が起こりました。そのとき大量のマグマが噴出し(i)、空いた空間に地面が落ちて大きな「穴」(始良カルデラ)ができました(ii)。その後、陥没したところへ海水が流れ込み、錦江湾(湾奥部)となったのです(iii)。

私たちの目の前で、いつも波を漂よわせている錦江湾(鹿児島湾)。春夏秋冬、さまざまな表情を見せてくれる身近な海ですが、実は世界的にも珍しい海であり私たちの知らないたくさんの魅力を秘めています。それを知れば、鹿児島島の海がもっと好きになるはずです。

火山が作った海の証「たぎり」

湾奥部の海底には「若尊カルデラ」という海底火山があり、火山性熱水噴気活動(写真①)が起きています。海面では火山ガスが泡となって浮上する「たぎり」と呼ばれる現象を見ることが出来ます。



たぎり

流氷以外の全ての海域環境が整っている

干潟や藻場、深海など環境の変化に富んだ錦江湾は、「日本で見られる流氷以外の全ての海域環境が整っている」といわれます。

干潟…川の河口部には、潮が引くと砂や泥の干潟が広がり、海の浄化に大きな役割を果たします。(写真②)

サンゴ群集…錦江湾には、温かい海を好むサンゴが約40種類生息しています。(写真③)

藻場…海藻(胞子植物)や海草(種子植物)が茂る場所。(写真④)

岩礁域…桜島周辺には溶岩流が海に流れ込んでできた岩礁域があり、陸上には磯が、水面下にはその岩場が崖のように落ち込んだ急深な岩礁があります。(写真⑤⑥)

深海…深さ200メートル以上の海。錦江湾の最深部は237メートルあります。

多様な海域環境があることで、錦江湾は1000種類近くの魚類のほか、無脊椎動物など多くの生物が存在する豊かな海となったのです。

錦江湾、の由来

島津氏第18代家久が、「浪のおり かくる錦は 磯山の 梢にさらす 花の色かな」という歌を詠んだことが鹿児島湾を錦江湾と呼ぶようになった起源といわれています。



寺山公園から望む桜島と錦江湾